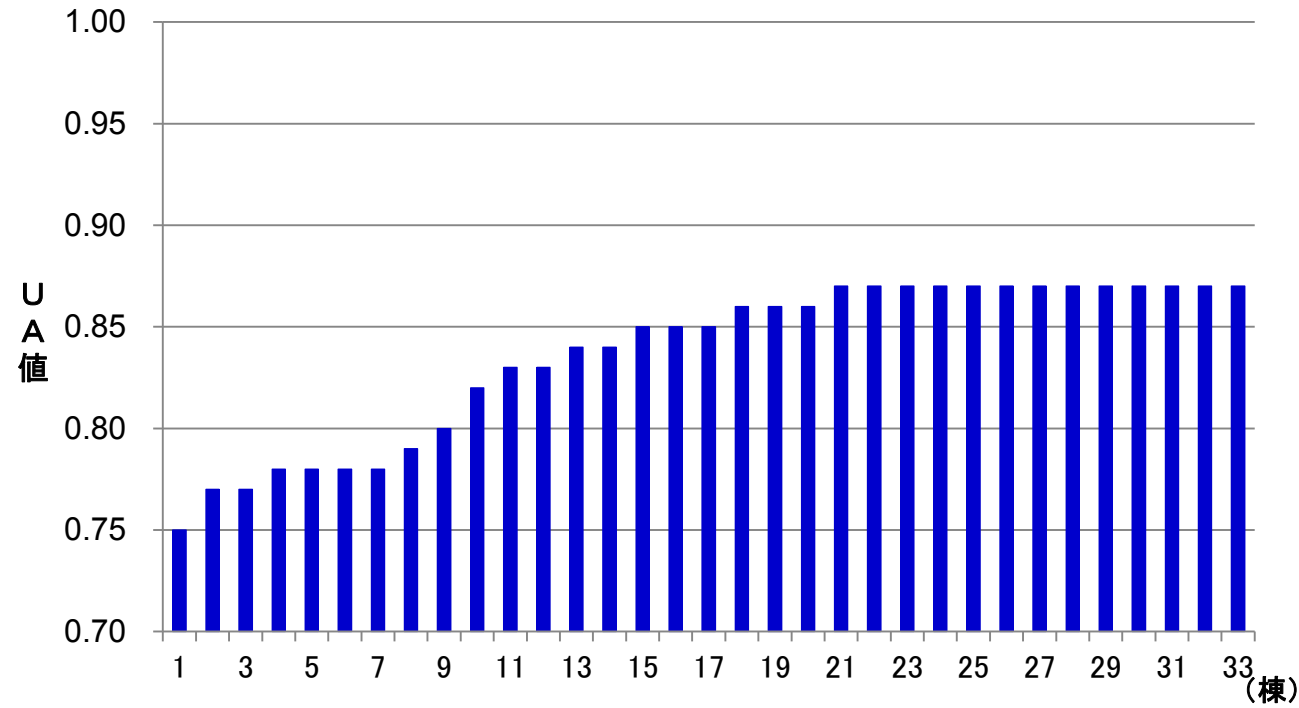


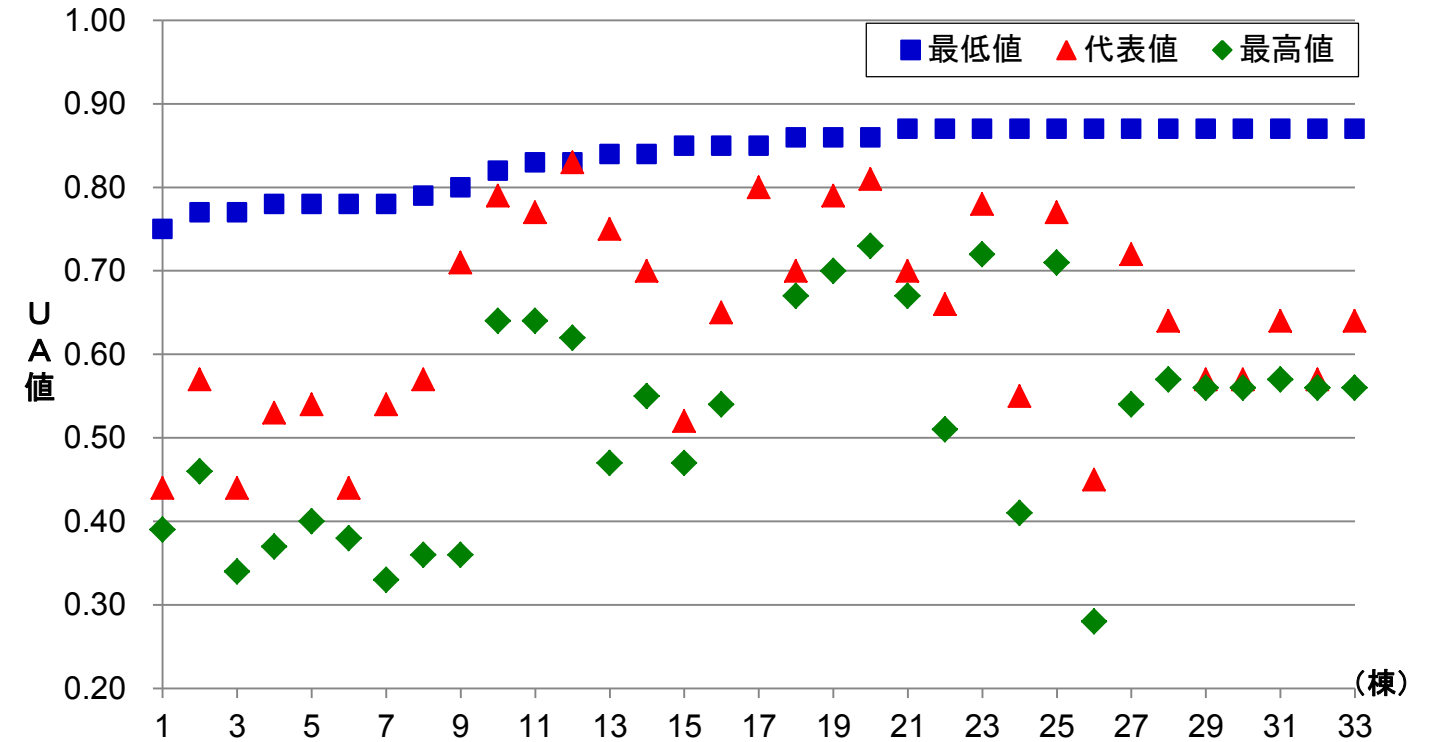
直近の3年間(平成28年度から平成30年度)に提出された住宅用途建物の建築物環境計画書において、根拠書類として、建築物省エネ法の届出書作成の参考となる、住戸に関する事項(届出書・第四面)別紙1【集計】が添付されているものを抽出した。(U_A値の最低値の記載がある34棟が対象)

【住戸ごとのU_A値(各建物における最低値)】

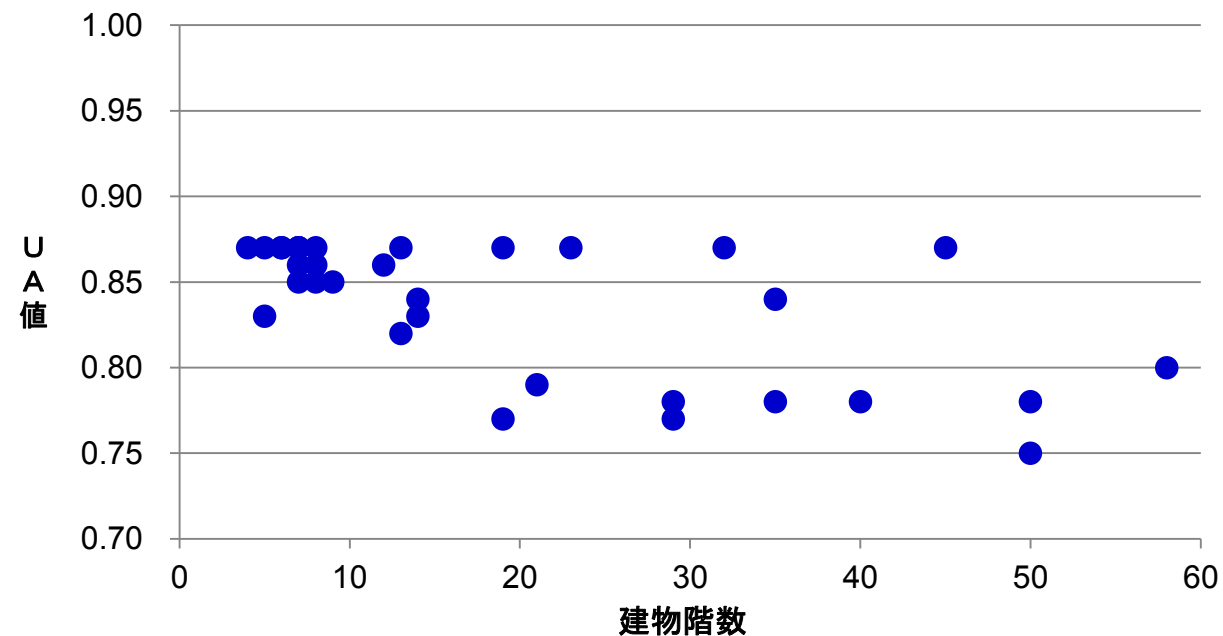


※ 上のグラフに記載した33棟のほか、U_A値が最大となる住戸で1を大きく上回る建物が1棟あった。

【住戸ごとのU_A値(最低値、代表値、最高値)】



【住戸ごとのU_A値(各建物における最低値)と建物階数】



【参考】住宅用途建物の外皮性能の評価に関する基準(住戸別の評価)

- ZEH-Mの強化外皮基準への適合(全ての住戸)
→ η_{AC} 値、気密・防露性能の確保等の留意事項を満たした上で、
U_A値が0.60 W/m²K以下
- 東京ゼロエミ住宅の断熱性能に関する性能規定
→ 省エネ建材等級(窓ラベル)4つ星(熱貫流率2.33 W/m²K以下の性能)を満たし、
U_A値が0.70 W/m²K以下
- 品確法の断熱等性能等級4(現行制度の段階3、CASBEEのレベル4以上に相当)
→ U_A値が0.87 W/m²K以下、 η_{AC} 値が3.0以下(5地域)又は2.8以下(6地域)
※ 4地域では、U_A値が0.75 W/m²K以下が等級4の水準

<現行制度の段階3の割合>
平成28年度: 85%、平成29年度: 89%、(平成30年度: 85%)